

杉田ゼミ

*教授紹介

杉田 敦 (すぎた あつし)

1959 年生まれ、群馬県伊勢崎市出身。東京大学法学部卒業。
専攻は政治理論、政治思想史。著書:『権力』(岩波書店,2000 年)
『デモクラシーの論じ方——論争の政治』(ちくま新書,2001 年)
『境界線の政治学』(岩波書店,2005 年) などがある。元日本政治
学会理事長 (在 2010~2012)、現日本政治学会顧問。甘美な声と
話し方には生徒たちを夢の中へと誘う効果があるとかないとか。
パクチーが大好き。



*ゼミの内容 毎週水曜日 3、4限 ※来年は変更になりますが現時点では未定です

【3限】ゼミ生が主体のディスカッションやディベート

担当者 (ペアでも可) が関心を持つテーマについて調べ、論点などをレジュメ等にまとめて発表。その後、論点を中心に残りのゼミ生で班ごとに分かれてディスカッションし、班員から出た意見を全体に発表して、そこでも自分や班の意見や疑問を個人や他班にぶつけます。最後に担当者がまとめて、杉田先生の講評で終わりです。今年度は「消費税率引き上げ」「成果主義の是非」「移民問題」「テクノロジーと経済」等、様々なテーマを扱いました。政治関連のテーマにしなければいけない、というわけではなく、担当者が取り扱いたい、ゼミ生に議論してほしい、そんなテーマであれば大丈夫です。

【4限】文献購読

まず学期始めに4限で取り扱いたい文献をゼミ生と先生で決めます。そして各々文献を読み、担当者は割り当てられたところをレジュメにまとめて発表。その後、残りのゼミ生が事前に提出した論点を軸に杉田先生と共に議論します。今年度の文献として、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』、森村進『自由はどこまで可能か』、ルソー『人間不平等起源論』などを扱いました。ゼミ生との議論や先生への質問や解説で、その文献を深く読み解くことができます。



春と夏に2回、合宿が
あり、春はゼミ論発表、
夏は集中文献購読をし
ます!!!

*将来のゼミ生へのメッセージ&諸連絡

ゼミ生の内訳としては3年 政治9人、国政3人 2年 政治15人で国政が少ないですが、国政の方も大歓迎です。杉田ゼミでは議論することが多いので、何気なくニュースで見たり聞いたりすることがある問題や普段から気になっている問題についての意見や疑問がある!という方にオススメのゼミです。一見すると固そうなゼミですが、学期終わりには飲み会や合宿でもコンパや観光なども勿論あるのでご安心ください!公開ゼミは11月16日と23日の水曜日3、4限を予定しておりますが、場所は未定なので詳細はゼミ掲示板をご確認ください。主体性を持った学生を待っています!!!

※来年度のみ、杉田先生がお休みのため、代わりに東京大学教授の宇野重規先生が担当します